

| | | |
|----------------------------|---|---|
| 開講科目名 / Course | 教育制度論 | |
| ターム・学期 / Term・Semester | 2024年度 / Academic Year 3 学期 / Third | |
| 開講区分 / semester offered | 3 学期 / Third | |
| 単位数 / Credits | 1.0 | |
| 学年 / Year | 3 | |
| 主担当教員 / Main Instructor | 今井 航 | |
| 担当教員名 / Instructor | 今井 航 | |
| 必修・選択 / compulsory subject | 選択 | |
| 講義形態 / Class Type | 講義 | |
| 授業回数 | 8 | |
| 科目の目的と概要 | <p>第1に、世界主要国における教育制度改革の動向を取り上げたり、受講学生自らが過ごしてきた学校が制度上どう位置づけられるのかを問うたりすることにより、教育制度への関心を高める。</p> <p>第2に、職務内容や守るべき義務、免許制度、研修制度を取り上げることにより、教職員に関する制度の特徴を捉える。</p> <p>第3に、教育委員会の制度の移り変わり、教員評価の制度、学校支援の制度を取り上げることにより、教員はそうしたことにどう応じればよいのかを考える。</p> | |
| 到達目標 | <p>1. 教育に関する制度について、関連法規や答申などを踏まえながら理解したことを、説明する。</p> <p>2. 教育に関する制度を踏まえた上で、学校や学級を経営する計画を立案することができる。</p> | |
| DPとの対応 | 1.心豊かな人間性・倫理観、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力 | |
| 授業計画 | <p>01. 教育制度の基本と改革動向 日本の教育制度を支える基本原理、世界主要国における教育制度改革動向</p> <p>02. 学校の制度 学校の定義と種類、学校の設置者、学校の起源と学校系統、学校制度改革の論点</p> <p>03. 教職員の制度 教職員の職務内容と守るべき義務</p> <p>04. 教員養成の制度 教員の免許と養成・採用のしくみ</p> <p>05. 教員研修の制度 「学び続ける教員」を支えるしくみ</p> <p>06. 教育行政の制度 教育行政のしくみと今日的な動向</p> <p>07. 教員評価の制度 評価システムを通してみえてくるもの</p> <p>08. 学校関係者による学校支援の制度 「地域とともにある学校」に向けた学校と地域の連携・協働や、学校安全への対応</p> | |
| その他の授業の工夫 | ハンドアウトにより最新教育事情に関する話題提供を行う。受講者が話し合う機会を提供する。 | |
| 時間外学修 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画に基づき、授業開始前に資料などに目を通すこと（8h）。 ・ 授業終了後、講義中に提示された資料を整理し、復習をおこない、基本的な概念について自分なりの理解を構築する（10h）。 ・ 期末レポートの作成（4h）。 | |
| 評価方法と評価割合 | 試験結果（学期末試験100%）。授業で扱った内容に基づき、到達目標及びテーマを踏まえながら作成された各問に、正確に答えられるかどうか。語句による記述式や記号選択式の問題により問う。 | |
| テキスト | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新・教育制度論 教育制度を考える15の論点（ミネルヴァ書房） ・ 講義レジュメ・資料 | |
| 参考書 | 「第3章 現在の学校教育制度」新版 はじめて学ぶ教育の原理（学文社） | |
| 履修する上で必要な要件 | | |
| その他 | | |
| 教員の実務経験 | 有・無 | 無 |
| | 内容 | |
| 教員以外で指導に関わる者の実務経験 | 有・無 | 無 |
| | 内容 | |
| 実務経験をいかした教育内容 | | |